INAX

標準給排気筒　TBH-FFCS
厚壁給排気筒　TBH-FFCSL
工事説明書

施工される方へ

●設置工事の前に、この工事説明書をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。
●この工事説明書は、取扱説明書と共に必ず保存してください。

安全のために必ずお守りください（特に注意していただきたいこと）

ここに示した事項は⚠警告⚠注意に区分しています。

⚠**警告**：作業を誤った場合に設置工事作業者が、又は設置工事の不具合によって使用者が、死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合

⚠**注意**：作業を誤った場合に設置工事作業者が、又は設置工事の不具合によって使用者が、傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合

イラスト（まんが）の横にある⃠マークは「禁止」、❗マークは「強制」、⚠マークは「注意」を表してます。

⚠警告

1．据付けや移動は、販売店へ依頼すること

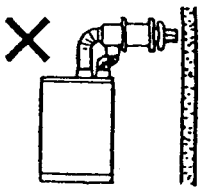
ご自分で据付けをされ不備があると感電や火災の原因になります。

2．火災予防条例、電気設備に関する技術基準、電気工事や水道工事はそれぞれ指定の工事店に依頼するなど法令の基準を守る。

3．集合煙突への取り付け禁止

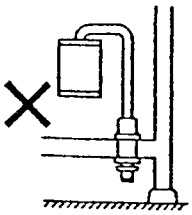
必ず屋外に排気できる場所に取り付けてください。
排気ガスを再度吸い込んで不完全燃焼をおこすおそれがあります。

4．屋内給排気禁止



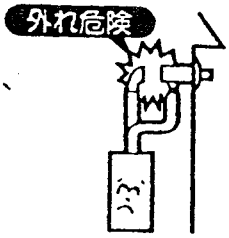
必ず屋外に排気してください。
排ガスが室内に充満して危険です。

5．床下給排気禁止



必ず屋外に排気してください。
排ガスが室内に漏れて危険です。

6．外れ危険



給排気筒（管、ホース）を確実に接続し、しっかりと固定してください。
風、振動、衝撃などで外れたりすると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

⚠ 警告

7. 給排気筒トップ閉そく危険

積雪が多いときに給排気筒トップの周りが雪でふさがれない場所に設置してください。また、板などによる「雪囲い」は給排気の妨げになるのでおやめください。
運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

8. 排気筒接続部は確実にロックしてください。

排気筒接続部から排気ガスが漏れると非常に危険です。

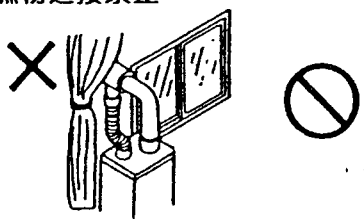
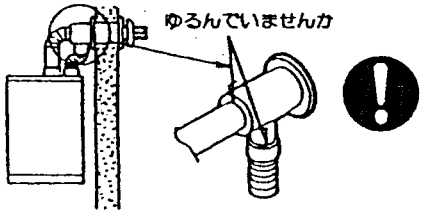
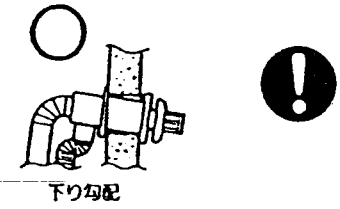
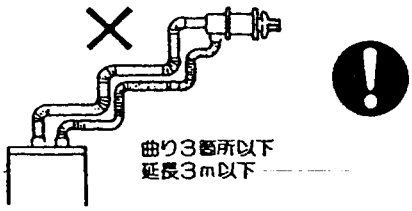
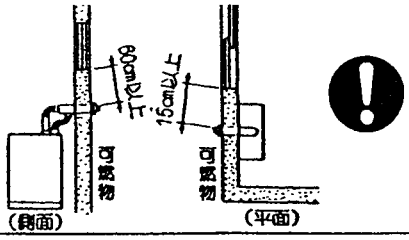
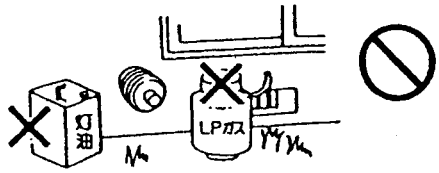
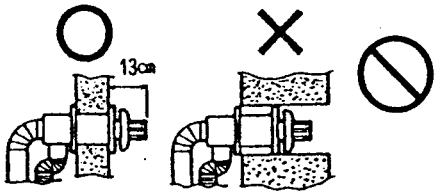
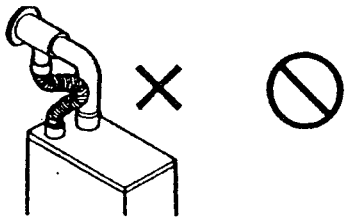
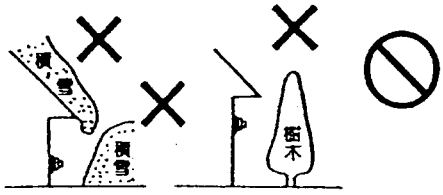
⚠ 注意

1. 雨水が機器本体内及び壁内に入らないようにする。

- 勾配が適正でないと雨水が機器本体に入って不完全燃焼をおこすおそれがあります。屋外に向かって約3°の下り勾配になるように取り付けてください。
- 屋外側の壁面と「外壁フランジ」の間から雨水が侵入するおそれのある場合は「外壁フランジ」の内外周にコーキング材を塗布してください。

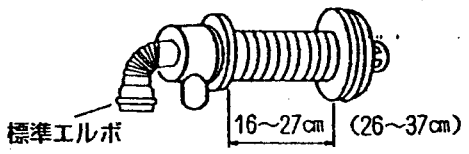
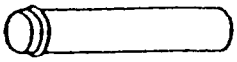
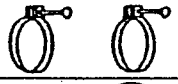
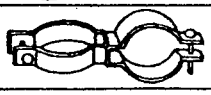
2. 給排気筒の点検

取付けが終わったら、もう一度点検してください。給排気筒の施工に不備があると、危険であったり、不完全燃焼をおこすおそれがあります。正しく施工してください。

1. 可燃物近接禁止 	2. 接続のゆるみ点検 
3. 下り勾配のこと 	4. 3m3曲がり以下のこと 
5. 給排気筒トップと開口部との距離は離す 	6. 危険物近接禁止 
7. トップ突出寸法 	8. 給気ホースと排気管の接触 
9. トップ付近の障害物 	

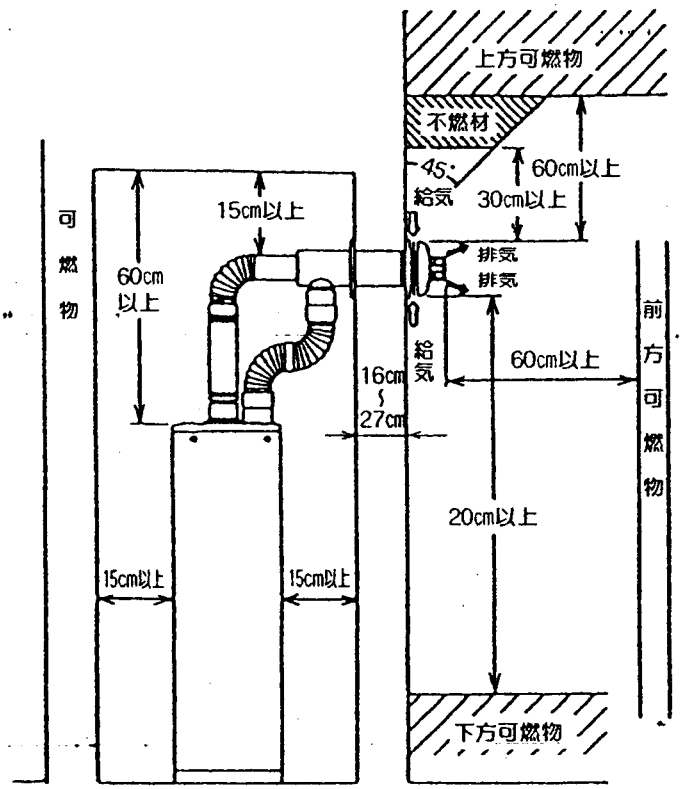
1.開こん

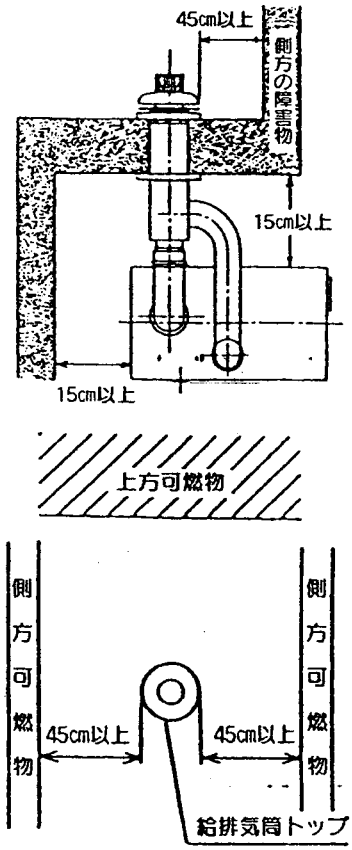
●梱包の中には下記の付属品が入っておりますので、確認してください。
●標準給排気筒TBH-FFCSと、厚壁給排気筒TBH-FFCSLとでは給排気筒のみ異なり、他の付属品は全て同じです。
●なお、部品が1つでも欠けると正しい取り付けができなくなります。紛失したりこわしたりしないよう注意してください。

	品　　名	個数	
1	給　排　気　筒 （　）寸法は厚壁給排気筒	1組	
2	外壁パッキン	1	給排気筒に組込み
3	標準用継手(外)	1	
4	標準用継手	1	
5	給気ホース	1	
6	締付バンド	2	
7	固定バンド	1組	
8	木　ねじ (給排気筒本体固定用)	4	
9	断熱クロス	1	
10	排気口固定ネジ	1	標準用継手に貼付けてあります

※給排気筒に使用しているOリングはJIS-B2401　フッ素ゴムです。

■給排気筒の標準据付け例





屋外からの図

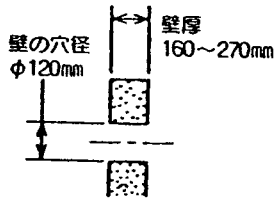
2.据付け

■据付け場所の選定

●壁に穴をあける場合は壁の厚さが160～270㎜（厚壁給排気筒は260～370㎜）で壁の内側にあるガス管・水道管の配管・電気配線等に接触するおそれのない場所を選んでください。また、メタルラス張り、ラス張り、ワイヤラス張りの壁に取付ける場合は、壁貫通部の給排気筒の外周に絶縁テープ等を巻いて電気絶縁を施してください。
●人通りの激しいところや、雪や風の吹きだまりになるような場所、ツララの真下になるようなところには取り付けないでください。
●給排気筒が床下・天井を貫通しなければ取付けられない場所には設置しないでください。
●給湯器本体から給排気筒まで延長管の長さが3m、曲がり箇所が3カ所を越えるところには給湯機を据え付けないでください。
●給排気筒トップの周囲や近くに、危険物や障害物のないところを選んでください。
●給排気筒は先端が必ず約3°の下向きになるように取り付けてください。
●給気ホースを使用せず、排気管だけを接続する取付けは、絶対に行わないでください。
●屋外側（ベランダ・バルコニー等）から給排気筒が取付け、取外し可能な壁に取り付けてください。

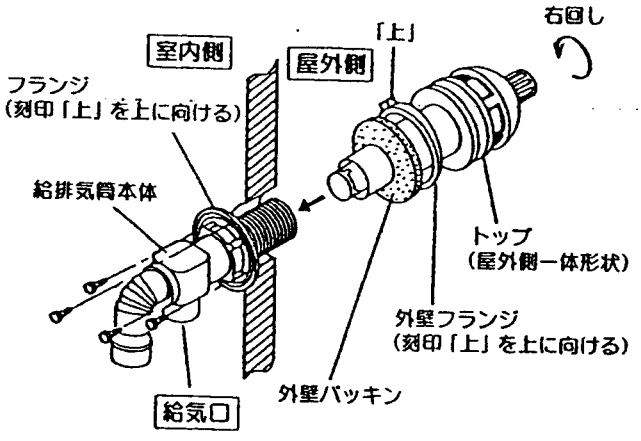
■据付け方法

1.（壁の穴あけ）



●壁の穴径はφ120mmです。
●取付け可能な壁厚は160～270mmです。（厚壁給排気筒は260～370mm）
各機種による壁への穴あけは、機器に同梱の工事説明書の
標準設置の方法 に従ってください。

2.（給排気筒の取付け）



(1) 室内側より

①給排気筒本体を室内側より壁穴（120φmm）に差し込み木ねじ4本で固定します。
（フランジの刻印「上」を上側にして固定しま

(2) 屋外側より

①給排気筒トップに外壁フランジ・外壁パッキンを組み込み、壁穴に差し込んで、給排気筒本体に奥まで差し込み、最後右に回して確実に締め付けてください。
②外壁フランジの刻印「上」を上側にしてしっかり固定してください。

3. 排気筒の取付け

排気筒の取付け前にもう一度標準部材で設置できることを確認してください。確認後、標準用継手に付いているツメをドライバー等を使って約4mmくらいおこしてから次の手順で組み込んでください。

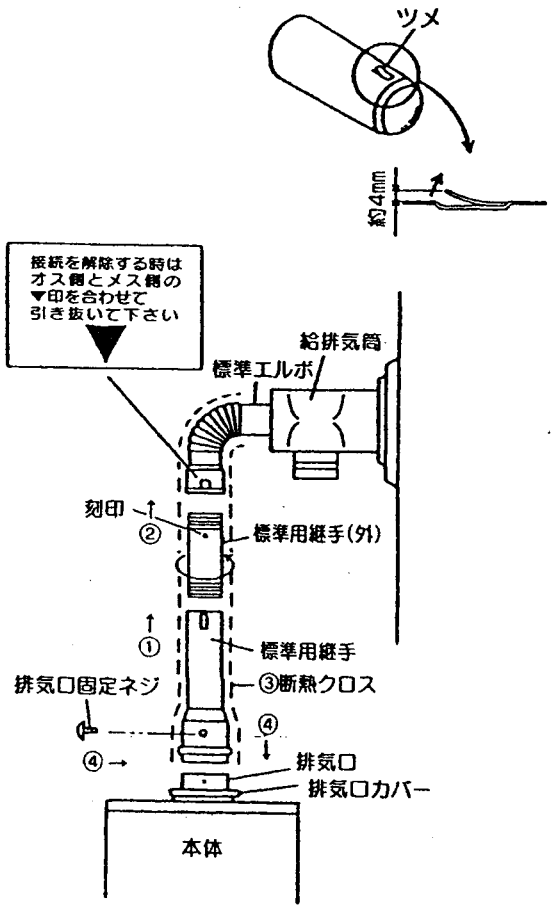
〔標準エルボと標準用継手はツメを起こして組み込みますと、ツメがストッパーとなり抜き取ることができなくなります。ご注意ください。〕

①標準用継手（外）に、標準用継手を差し込みます。

②標準エルボの排気筒取付け口のラベル▽印と標準用継手（外）の刻印△印を合わせて接続します。接続後標準用継手（外）を回してロックします。

③断熱クロスを標準用継手・標準エルボに組み込んでください。（断熱クロスは、標準用継手・標準エルボの長さに合わせて適当な長さに切って使用してください。）

④標準用継手を機器の排気口に差し込み、付属のネジで固定してください。

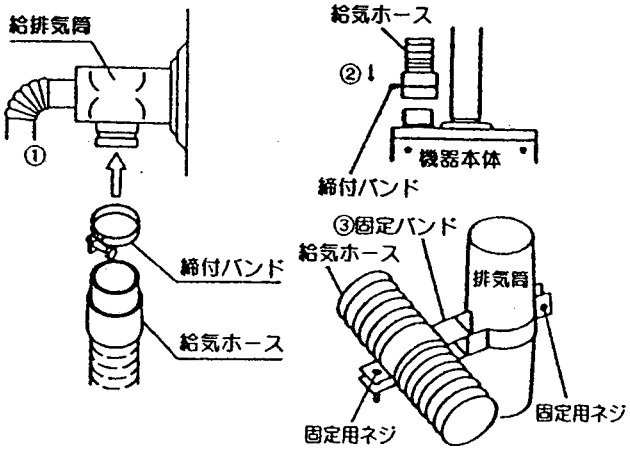


4. 給気ホースの取付け

①給気ホースを差し込み、付属の締付バンドでしっかり固定します。

②給気ホースを引き延ばして機器本体の給気口に差し込み、付属の締付バンドで固定します。

③給気ホースが排気筒に接触しないように付属の固定バンドを排気筒に取付け、給気ホースをはめ込みます。さらにネジで固定します。

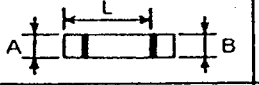
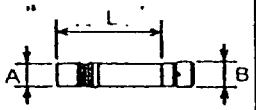
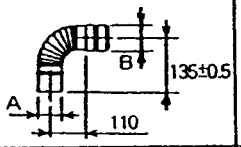
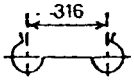
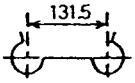
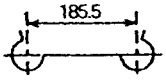
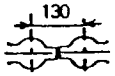
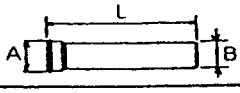


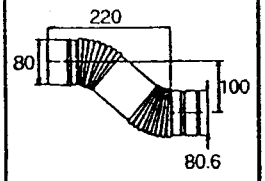
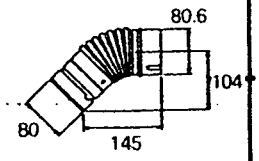
3.延長設置の方法

●延長設置のときは別売の延長用部材をご使用ください。
●本体から給排気筒までの排気筒の長さは3m以下、曲がり数は3ケ所以内にしてください。これ以上の延長設置を行った場合、不完全燃焼をおこす恐れがありますので、おやめください。

1．延長部材別売品

(単位：mm)

名称	品番	内容	寸法 L	寸法 A	寸法 B
直管	UFG-1-900		900	(内) 80.6±0.2	(外) 80±0.2
スライド管	UFG-2-200		170~240	(内) 80.6±0.2	(外) 80±0.2
	UFG-2-300		235~370	(内) 80.6±0.2	(外) 80±0.2
	UFG-2-500		365~630	(内) 80.6±0.2	(外) 80±0.2
	UFG-2-800		565~1030	(内) 80.6±0.2	(外) 80±0.2
エルボ	UFG-3			(内) 80.6±0.2	(外) 80±0.2
固定バンド(L)	UF-5				
固定バンド(S)	UF-6				
固定バンド(M)	UFG-4				
自在固定バンド	UFG-5				
耐熱クロス	UFG-10				
径違い継手	UF-11			(内) 80.6±0.2	(外) 70±0.2

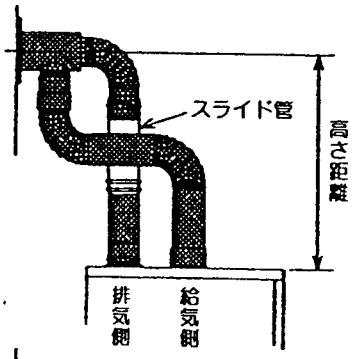
芯違い継手 UF-12	
45°エルボ UFG-11	

2. 延長設置例（別売品使用）

高さ方向の延長例（単位：mm）

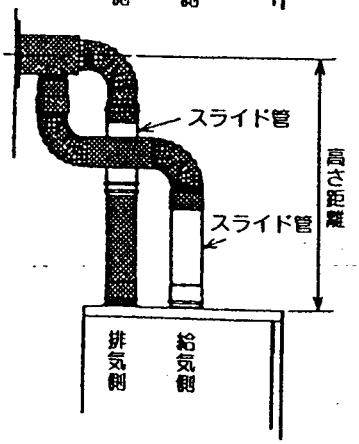
▨ 部は標準付属品をそのまま使用してください。

1



高さ距離(mm)	給気側必要部品	排気側必要部品
550~750	なし	UFG-2-200　1個
615~875	なし	UFG-2-300　1個
745~1135	なし	UFG-2-500　1個

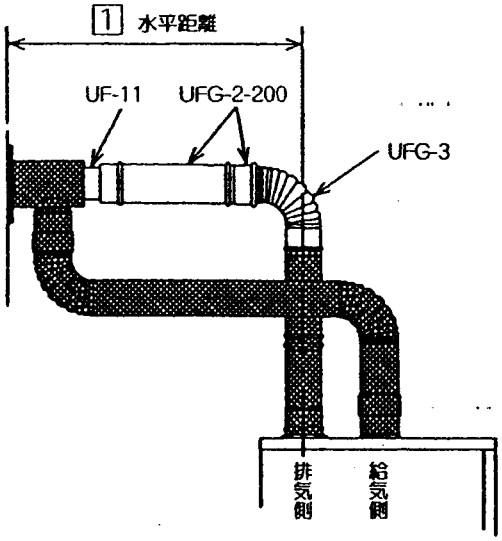
2



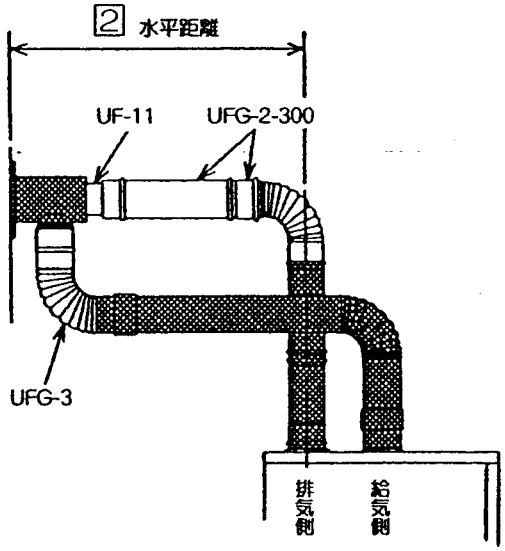
高さ距離(mm)	給気側必要部品	排気側必要部品
945~1535	UFG-2-200　1個 (ただし、1200以下の場合は不要)	UFG-2-800　1個
1115~1775	UFG-2-300　1個	UFG-2-800　1個 UFG-2-200　1個
1180~1905	UFG-2-500　1個	UFG-2-800　1個 UFG-2-300　1個
1510~2565	UFG-2-800　1個	UFG-2-800　2個

水平方向の延長例 （単位：mm）

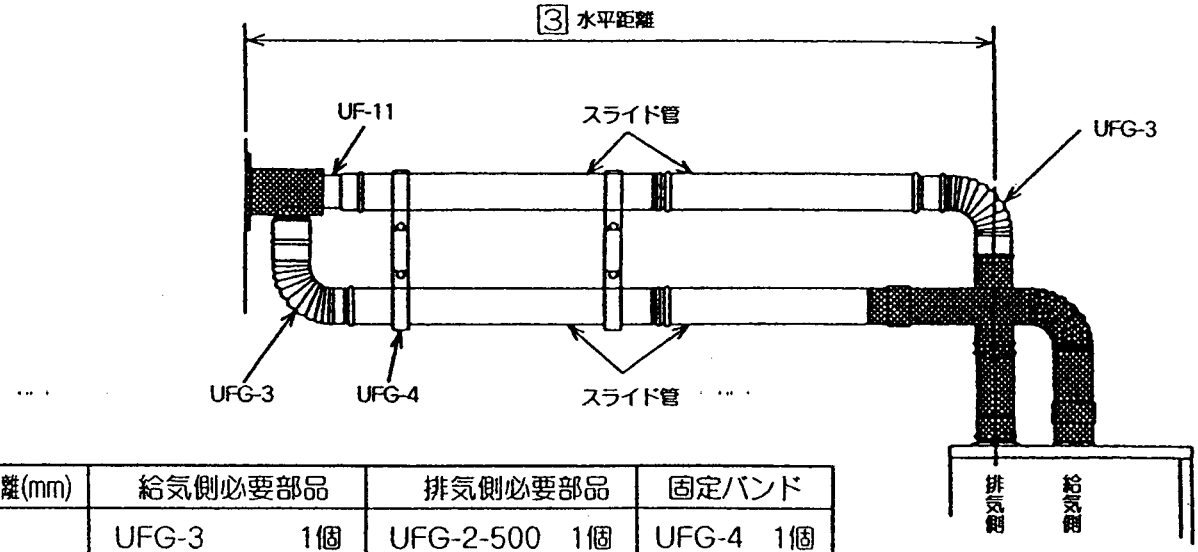
▨ 部は標準付属品をそのまま使用してください。



水平距離(mm)	給気側必要部品	排気側必要部品
495～845	なし	UFG-2-200 1個 UFG-3 1個 UF-11 1個



水平距離(mm)	給気側必要部品	排気側必要部品
560～975	UFG-3 1個	UFG-2-300 1個 UFG-3 1個 UF-11 1個



高さ距離(mm)	給気側必要部品	排気側必要部品	固定バンド
690~1235	UFG-3 1個 UFG-2-200 1個 (ただし、1100までならUFG-3のみで可)	UFG-2-500 1個 UFG-3 1個 UF-11 1個	UFG-4 1個
890~1635	UFG-3 1個 UFG-2-500 1個	UFG-2-800 1個 UFG-3 1個 UF-11 1個	UFG-4 2個
1125~2005	UFG-3 1個 UFG-2-800 1個	UFG-2-800 1個 UFG-2-300 1個 UFG-3 1個 UF-11 1個	UFG-4 3個
1453~2665	UFG-3 1個 UFG-2-800 1個 UFG-2-500 1個	UFG-2-800 2個 UFG-3 1個 UF-11 1個	UFG-4 3個

高さ・水平方向混合の場合

● (高さ方向の延長例) と (水平方向の延長例) を参考に延長設置してください。
(排気筒3m以内、曲がり数3ケ所以内で設置してください。)